

学校だより



# 『啐 啄』



大津市立瀬田中学校 校長 奥村 公英

朝夕の冷え込みも厳しくなり、日一日と秋が深まり校庭の木々も色づきはじめました。寒暖の差が大きくなるこの時期、マスクをして登校してくる生徒や体調を崩す生徒も増えてきています。うがい・手洗いを励行し、睡眠や栄養・休養を十分にとって、体調管理をしっかり行ってほしいと思います。



さて、11月には1年生の京都校外学習、2年生の職場体験学習などの行事があります。生徒たちはこれらの行事を通して、貴重な体験を積み一回り大きく成長してくれるものと期待しています。また、3年生は第2回進路説明会を終え、いよいよ進路希望を具体的に考えるときを迎えました。生徒一人ひとりが希望する進路に進んでくれることを願っています。

## 中学校体育連盟秋季総合体育大会のおもな結果

中学校体育連盟秋季総合体育大会が10月18日(金)に大津市内各会場で開催されました。夏に3年生が引退した後、初めて行われる1・2年生だけの大きな大会です。生徒たちは瀬田中学校の代表として、誇りを持って試合に臨み、好成績を収めてくれました。

下記におもな結果を記載します。今後の強化練習会や春季総合体育大会等で存分に力が発揮できるよう、日ごろの地道な練習をこれからも大切にしてほしいと思います。

バレーボール：男子 大津市 優勝、女子 ゾーン2位

サッカー：大津市 3位、ソフトボール：大津市 3位

卓球：男子団体 ゾーン1位、女子団体 ゾーン2位

ソフトテニス：男子団体 大津市 優勝、女子団体 大津市 3位

男子：1位 三好・松尾組、2位 緒方・百田組、ベスト8 青山・前田組

女子：3位 前田・井上組

バドミントン：女子団体ベスト8 女子個人：ベスト8平松梓、男子個人：ベスト8竹本光佑

ボート：滋賀県男子総合 2位、滋賀県女子総合 優勝

男子舵手付クォドルプル2位 瀬田中学校A〔後藤・南・澤田・古田・安田〕

ダブルスカル3位 瀬田中学校A〔増井・井幡〕

男子シングルスカル3位 向井悠人

女子舵手付クォドルプル：優勝 瀬田中学校A〔三宅・楠瀬・泉野・神山・北浦〕

3位 瀬田中学校B〔橋本・松尾・木下・大住・森〕

ダブルスカル3位 瀬田中学校A〔岡部・宇佐美〕

シングルスカル2位 竹村ゆきの

陸上：女子共通1500m2位 肥後彩羽

剣道：3位 吉川尊太 ベスト8 辻谷康太、塩谷日和

水泳：400m自由形1位 岸 和史 100m自由形3位 野間唯花

200mバタフライ1位 伊藤珀叶



## いじめ防止に向けた取組

本校では、日頃の取組に加えて、いじめへの取組の一環として学期ごとの教育相談の開催、アンケートの実施、いじめ撲滅ムービーの制作を行っています。そして、10月21日(月)～11月1日(金)には生徒会が中心になって「こころ つながる 瀬中生 No more いじめ」と題した活動を行いました。この活動は、瀬田中生全員が「いじめを絶対にしてはいけない」という意識を共有し、みんなでいじめをなくすための取組です。みんなが缶バッジを身に付け、クリアファイルを使うことで、いじめ撲滅に向け、瀬田中生全員で強い気持ちを持つことができるとの信念の下、取り組めました。この取組を始める際に、



10月21日の朝、生徒会の白井さんと中野さんが全校放送で、この活動についての意義を全校生徒に伝えてくれました。

これら一連の取組を通して、生徒一人ひとりが温かい気持ち、相手を思いやる気持ちをもち、絆を強め、つながってくれることを期待しています。



## 全国学力・学習状況調査結果について



全国学力・学習状況調査は、小学校6年生・中学校3年生を対象にして、平成31年4月18日(木)に全国一斉に実施されました。調査は教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査がありました。中学校における教科に関する調査は、国語・数学・英語の三教科で実施されました。(※ 英語については、今年度初めて実施されました。)

詳細については、学校のホームページに掲載させていただきますが、概要として、数学と英語は滋賀県の平均正答率とほぼ同じ水準で、全国平均をわずかに下回りましたが、国語は滋賀県・全国の平均正答率を上回る結果となりました。

教科ごとに見ると、国語では、書くこと、話すことなど、すべての領域において学力が向上しました。生徒の発信力と国語に対する関心を高めるべく、今後もプレゼンテーションやディスカッション等いろいろな授業形態を取り入れるなどの工夫を重ねていきます。数学では、数学に関する興味や関心は大変高く、授業も楽しいと感じている一方で、関数に関する分野では、確かな学力とするには取組の改善が必要です。引き続き授業改善に取り組み、学力向上に努めます。英語においては、国語では自分の考えを書く問題の正答率が高かったのですが、英語では逆の結果となりました。考えを表現するための基礎的な英語力を、反復学習等により獲得できるよう工夫していく必要があると考えています。

次に、生徒質問紙から見える生徒の状況ですが、「将来の夢や目標を持っている」、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」と回答した生徒が増えました。夢や希望を持ち、チャレンジすることは、変容する時代の中で大切なことです。また、「先生は分かるまで教えてくれる」、「家で自分で計画的を立てて勉強している」と回答した生徒が増えました。全く家庭学習をしなかった生徒は減少し、1～2時間家庭学習の時間をとっている生徒が特に増加しています。限られた時間の中で、家庭学習に取り組む習慣を身につけた生徒が増えたものと考えられます。

最後に、生徒の自主的な地域ボランティア参加者が大幅に増加しています。今後も生徒が活躍できる機会を大切にして、自主的な取組を広げていけるよう努めてまいります。